
「髄膜腫に対する再手術の治療成績に関する検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

研究対象者の期間：2011年1月1日から2024年3月31日

（この間に埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科で髄膜腫と診断され手術を受けた方）

但し、これらの期間は、必要な手続きを経て変更する場合があります。

2. 研究の目的

髄膜腫の治療において、開頭腫瘍摘出術をはじめとする外科摘出術や放射線治療を行う事が一般的です。多くの髄膜腫は、これらの治療の組み合わせにより長期の腫瘍制御を得られる事がわかってきていますが、中には複数回の手術を必要とする場合もあります。手術を複数回行う事は創部治癒や組織癒着を引き起こすため、一般的には、初回手術よりもリスクが高いだろうと予測はされていますが、その治療成績に関しては未だ明らかではない点も多いです。今回の研究を通じて、髄膜腫の手術において複数回手術を受けることのリスクを評価できることで、今後の同じような病気を持たれた患者さんの治療方針決定に役立つのではないかと考えています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年9月14日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

過去に当科にて治療を受けられた患者さんの検査データや診療記録等を用いる研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科において、研究責任者である花北 俊哉が、管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

過去に髄膜腫と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。新たな検査や費用負担が患者さんに生じることはありません。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 花北俊哉（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身の検査データやカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：髄膜腫に対する再手術の治療成績に関する検討

○研究責任者埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 准教授 花北俊哉

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL: 049-228-3671 FAX: 049-228-3671 （平日 9 時-17 時）